

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	上級ダイビング実習	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	スポーツインストラクターコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	ダイブマニュアルⅠ、Ⅱ / レスキューマニュアル				
担当教員情報					
担当教員	平川	実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター		
学習目的					
<p>アドバンスダイバーとして必要な技術を再確認し、更なる経験を習得し、グループコントロール方法などを通じダイビングリーダーとなる為の訓練を実施します。安全に楽しくダイビングを行う上での潜水計画の立案、その計画を実行するための潜水技術、様々なトラブル対応策、ダイビングリーダーとしての知識と技術の習得を目的とします。</p>					
到達目標					
<p>ダイビングリーダーで最も大切なことは、参加する受講者の安全確保です。また、万一トラブルが発生したときの救急体制の確立も重要です。安全管理とは、水中でのトラブルや潜水中の事故を未然に防止することであり、そのためには考えられる限りの安全対策を講じることが必要です。優れた専門知識を持ち、高度な潜水技術を修めていても、安全管理能力が備えられていなければなりません。ダイビングリーダーとしての安全管理について、潜水事故防止対策の具体策など上級実習を通じて習得することを目標とします。</p>					
教育方法等					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングリーダーに必要な知識と技術を期間内に習得します ・安全潜水を立案し遂行できるダイバーを目指します 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・中級ダイビング資格取得者のみ履修可能となります ・ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください ・実習中の健康管理には十分気を付けてください ・授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができません 				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	100%	学科試験・海洋での実技試験で評価し認定します		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 (口頭・実技)	%			
平常点	%				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	【講義】グループ潜水について、チームリーダーについて	グループ潜水における注意事項、推奨すべき項目を理解し、またリーダー、アシスタントの役割など陸上・水中での具体的な動きを理解します			
2回	【講義】安全管理について、潜水計画の立案法	ダイビング中の安全管理について理解し、且つ潜水計画及び計画実施に必要なものを理解し習得します			
3回	【講義】トラブル回避策、救急法、CPR	アクシデントはなぜ起こるのか、器材・水中など様々な具体例から回避策を習得し、レザシアン・AED訓練機を使用し救急法技術を習得します			
4回	【スキン&スクーバ】器材の取り扱い&チェック&セッティング&リセット&水洗い	ダイビング器材の取扱、チェック方法、洗い方などの確認をします			
5回	【スキン】エントリー&エキジット	スキндаイビングでの入水・出水法を習得します			
6回	【スキン】スノーケル呼吸&クリア	スノーケル呼吸法とクリアー法の基本技術と応用技術を習得します			
7回	【スキン】マスククリア（マスクなし呼吸、マスク投げ）	スキндаイビング装備でのマスククリアーの基本技術と応用技術の確認をします			
8回	【スキン】ウエイト離装着	水面、水中でのウエイト離装着方法を習得します			
9回	【スキン：深域】潜降（ヘッドファースト）／浮上、マスククリア、ウエイト離装着	水深5m程度への垂直潜水法、マスク・ウエイトを水中で外し、水中で装着する方法の習得をします			
10回	【スクーバ】基本技術の確認、水中コンパスナビゲーション、水中情報の収集	スクーバダイビングの基本技術、水中でコンパスナビゲーションの確認、及び潜水計画立案に必要な水中シンの情報収集をします			
11回	【スクーバ】リーダー研修①	潜水計画に沿った潜水の実施、安全管理方法をフル活用し、計画に沿った潜水を実施します			
12回	【スクーバ】リーダー研修②	潜水計画に沿った潜水の実施、安全管理方法をフル活用し、計画に沿った潜水を実施します			
13回	【スクーバ】リーダー研修③	潜水計画に沿った潜水の実施、安全管理方法をフル活用し、計画に沿った潜水を実施します			
14回	【スクーバ】リーダー研修④	潜水計画に沿った潜水の実施、安全管理方法をフル活用し、計画に沿った潜水を実施します			
15回	【レスキュー】レスキュー訓練	沖合で溺れている人の救助方法を習得します			